



# 山梨県立 甲府南高等学校



5階建ての校舎、2階建ての体育館など充実した学習環境

所在地 〒400-0854 甲府市中小河原町 222 番地  
 電話 055-241-3191  
 FAX 055-241-3145  
 URL <http://www.kofuminami-h.ed.jp>  
 E-mail [nanko@kofuminami-h.ed.jp](mailto:nanko@kofuminami-h.ed.jp)  
 創立 昭和38年4月1日  
 課程 全日制  
 利用交通機関 JR身延線 甲斐住吉駅より徒歩12分  
 山梨交通バス 甲府南高校前(学校入口)  
 教員数 50名  
 生徒数 689名



| 学科名 | 1年  |    | 2年  |    | 3年  |    |
|-----|-----|----|-----|----|-----|----|
|     | 男   | 女  | 男   | 女  | 男   | 女  |
| 普通科 | 101 | 88 | 104 | 82 | 105 | 90 |
| 理数科 | 26  | 15 | 23  | 16 | 18  | 21 |

## 脈々と受け継がれる『開拓者精神』

本校は創立62年目を迎え、創立時より『開拓者精神』を校訓とし、今なおその精神は脈々と受け継がれています。卒業生は2万名を超え、多くの先輩が各界のリーダーとして県内外や国内外の幅広い分野で活躍しています。

「真・善・美」を求め、常に新しいこと、困難なことに挑戦しようとする進取の気性に満ちた自由で伸び伸びとした校風と、品性を重んじる学究的で落ち着いた雰囲気とを併せ持ち、社会に貢献できる人材育成を目標としている学校です。普通科と理数科、両科の生徒が互いに切磋琢磨することで文・理双方で輝かしい進路実績を築いています。

部活動も盛んで、入部率は高く、多くの生徒が個性を發揮するとともに、自己の可能性を求め続けています。学園祭を中心とした生徒会活動や部活動単位でのボランティア活動も、主体的かつ活発に行われています。

また、これまでの教育実践、進路実績、恵まれた学習環境などが高く評価され、平成16年度からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定され、令和4年度より5期目となりました。興味深い学校設定科目があり、他校では経験できない教科横断的(STEAM)な学びや校外研修、公開講演会などが行われています。

本校では、こうした諸活動を通して大局観や総合的判断力を養い、自己の持つ能力やエネルギーを他人や社会のために活かせる真のエリート育成を目指しています。

## 【普通科】学力の充実と進路実現

1年次は、選択の芸術科目以外は全員が同一科目を学習します。2年次以降は、文系・理系の進路希望に応じた選択科目が多く配置され、進路実現をサポートできるカリキュラムになっています。また、数学や英語など多くの科目で個に応じた学びを実現する少人数学習を実施して学習効果の向上を図り、難関大学にも対応できる学力の育成を目指します。

## 【普通科理数クラス】理数系に重点を置いたクラス

普通科の中に、理数クラスを設置しています。理数科と同様の授業を展開しており、3年間同じメンバーで学び、高いレベルでの論理的・科学的思考力を養います。2・3年次には文系希望の生徒にも対応した個に応じた選択科目を用意し、文理問わず社会の発展に寄与できる総合力のある人材の育成を目指します。

## 【理数科】未来のエキスパートを目指して

理数系の教科に興味・関心が強く、将来、理学・医学・薬学・工学などの分野に進みたいと考えている生徒、実験や演習を通して目の前の事象を論理的・科学的に捉える資質・能力を身に付けたいと考えている生徒に適した学科です。2・3年次には文系を希望する生徒のための選択科目も用意し、文理問わず一人ひとりの進路希望に柔軟に対応できる教育課程を編成し、将来の各界を担うリーダーの育成を目指します。

|                                 |              |   |
|---------------------------------|--------------|---|
| ☆<br>R<br>6<br>教<br>育<br>課<br>程 | 普通科          | 共通科目：現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、古典探究、地理総合、歴史総合、公共、数学ⅠⅡⅢ、数学ABC、物理基礎、化学基礎、生物基礎、体育、保健、英語コミュニケーションⅠⅡⅢ、サイエンスイノベーション、論理・表現Ⅱ、家庭基礎、フロンティア探究ⅠⅡⅢ<br>選択科目：文系・理系に応じて、18科目の中から文系は4科目、理系は5または6科目を選択 |
|                                 | 理数クラス<br>理数科 | 共通科目：普通科科目に加え、数・理は授業時間数を増やした専門性の高いSS数学ⅠⅡ、SS数学特論、SS物理、SS化学、SS生物、フロンティア探究ⅠⅡⅢなどの学校設定科目を履修<br>選択科目：文系・理系に応じて、18科目の中から文系は6科目、理系は7科目を選択   |

## 教育方針

将来、日本や国際社会の様々な分野で活躍し、社会の発展に貢献できる人材の育成を図る。

## 教育目標

校訓『開拓者精神』のもと、

- 1 **真理**を求め、高き理想を掲げ、真摯に学ぶ生徒を育てる。
- 2 **善**なるものを求め、自他を敬愛し、品性を磨く生徒を育てる。
- 3 **美**しきものを愛し、心身を鍛練し、新たな自己を拓く生徒を育てる。



## SSH (スーパーサイエンスハイスクール)

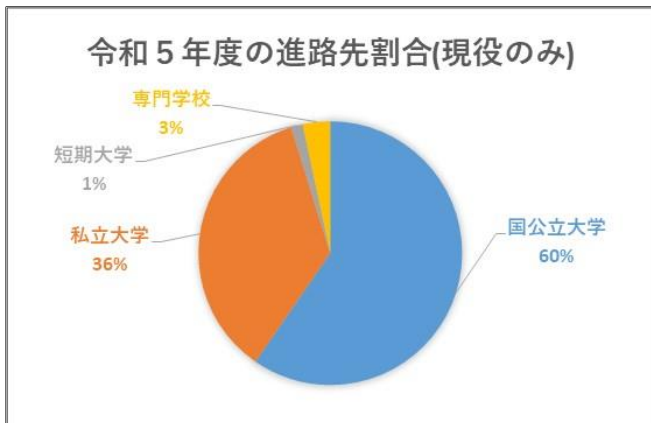
本校は平成16年度からスーパーサイエンスハイスクール(S SH)として文部科学省からの指定を受け、理数系教育の地域拠点校としての役割を期待されています。令和4年からは、全国で指定を受けている8校のうちの1校として第5期指定を受けました。本年度で通算21年目となります。S SHは、未来を担う科学技術系の人材を育てることをねらいとした理数系教育の充実を図る取り組みです。大学や研究機関と連携して、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習を進め、生徒全員が課題研究に取り組みます。そして、その学習過程を記録に残し、進学先へのスムーズな接続を提供します。本校では、実習・体験・交流を多く取り入れ、学校設定科目の授業や校外研修への参加や最先端の技術や研究に触れる機会を設け、生徒の科学への興味・関心を高めるとともに、国際社会で活躍できる人材の育成に通じるプログラムの研究開発を行っています。



～SSH研究発表会～

## 本校の教育が生み出す進路実績

入学した生徒が卒業するまでの間に受けるきめ細やかな指導とそれに応える生徒の活動が本校の教育の原点です。その柱として「授業」「面談」「学習環境」「キャリア教育」の充実を掲げています。最終進学先は下記のグラフのように、多くの生徒が自ら希望する進学先に進んでいます。



す。また、国公立大学医学部をはじめ難関といわれる大学に多くの合格者が出ています。令和5年度卒業生の実績の概要を以下に示します。

**国公立大学**：北海道大(1)、東北大(4)、筑波大(2)、千葉大(3)、お茶の水女子大(1)、東京大(1)、東京学芸大(3)、東京工業大(1)、東京農工大(1)、横浜国大(5)、山梨大(43)、信州大(5)、静岡大(9)、京都大(1)、名古屋大(1)、大阪大(2)、九州大(1)、東京都立大(3)、山梨県立大(12)、都留文科大(13)、静岡県立大(6)等【防衛大医(1)、大阪大医(1)、山梨大医(5)を含む】 計**142**名  
**私立大学**：青山学院大(5)、北里大(6)、杏林大(7)、神奈川大(8)、慶應義塾大(4)、駒澤大(4)、芝浦工大(3)、上智大(1)、成蹊大(5)、専修大(7)、中央大(9)、東海大(8)、東京電機大(2)、東京理科大(11)、東京薬大(7)、東洋大(7)、日本大(13)、法政大(11)、明星大(23)、明治大(10)、立教大(6)、早稲田大(7)、山梨学院大(13)、山梨英和大(3)、自治医科(1)等 計**350**名

## 活発な生徒会活動

本校には運動部が20部、文化部が19部および同好会が1つあり、どれも活発に活動し県内外の大会で好成績をあげています。昨年度は陸上競技男女、ソフトテニス男子、剣道男女、山岳、水泳、物質化学、生命科学、数理情報、文芸、競技かるた、放送、管弦楽、華道、囲碁、将棋、クイズ研究同好会が関東・全国大会に出場しました。

大きな生徒会行事には、6月の緑陽祭、9月の歌声コンクールなどがあり、生徒達の情熱あふれる活動となっています。



また、全校生徒がボランティア活動に参加していこうという「ボランティア1000回運動」を展開しています。ボランティア体験を通じて、社会に貢献する意識を育て、自らを高めていこうと意欲的に取り組んでいます。

## 〈主な年間行事〉

- 4月 入学式、実力試験、スタディーサポート、公開授業
- 5月 高校総体、生徒懇談、第1回定期試験
- 6月 緑陽祭
- 7月 三者懇談、夏季休業 夏季講座
- 8月 宿泊学習会、登校学習会、夏季講座、実力試験、スタディーサポート
- 9月 オープンスクール、理数科説明会、第2回定期試験 歌声コンクール
- 10月 公開授業、芸術鑑賞会、新人大会、三者懇談
- 11月 芸術文化祭、第3回定期試験
- 12月 修学旅行、三者懇談
- 1月 スキー教室
- 2月 S SH研究発表会、第4回定期試験
- 3月 卒業式、球技大会、S SH海外研修